

たね かぞ
種を数える

2024/4/22

No. 7

岩渕和信

3けたの数^{すう かぞ}を数える^{がくしゅう}学習です。

「このあいだは、お友達^{ともだち}の数を数えました。今日^{きょう}はこれを数えます」

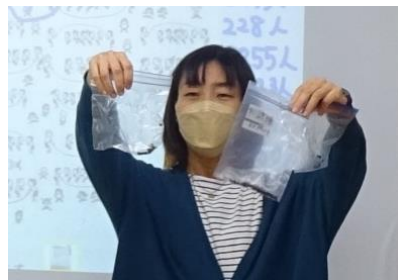
そう言って先生^{せんせい}が箱を取り出しました。中には何が入っているのでしょうか。

「ヒントは、来週^{らいしゅう}、1年生^{ねんせい}にプレゼントするものです」

「たね！！」「アサガオの種^{たね}！」

箱から取り出したのは、袋^{ふくろ}に入^{はい}ったたくさんの種^{たね}。

「これは、1年生の時^{とき}にみんなが育て^{そだ}たアサガオの種^{たね}です。覚えてます？」



「1年生^{こう}の頃^{ころ}、2年生にもらって、種^うを植^うえたら、何日^{なんにち}もずっと、毎日^{まいにち}アサガオを見て、種^{たの}とれてるかなって、すごい楽しみに見てた」

「ちょっと！よく覚えてたね。そうなの。今日はこれ、いくつあるかを数^{かぞ}えてもらいたいの」

「大変^{たいへん}！」「全部^{ぜんぶ}？」「あ、タイルの上に置^おいたらどうですか？」

「ちょっと待^まって、今^{いま}いいこと言^いってくれた。もう一度^{いちど}お願い^{ねが}い」

「タイルの上に、一^{いっ}個^こずつ置^おくの」「ロングとうさんだ！」

ロングとうさんとは、1年生の算数^{さんすう}で使^{つか}ったタイルです。



自分^{じぶん}たちの生活^{せいかつ}の中^{なか}から「育て^{そだ}た種^{たね}を数^{かぞ}える」という課題^{かだい}が生ま^うれました。そして、自分^{けいけん}たちの経験^{けいけん}の中^{なか}から「タイルを使^{かい}う」という解決^{かいけつ}方法^{ほうほう}を見^みつけまし^たた。

コンピュータになくて人間にあるのは「モチベーション」です。(落合陽一)